

【呉市国民健康保険肺がん CT 検診】を実施しています

「早期発見」と「低線量」を両立した肺がん CT 検診

呉共済病院

この度、当院では、最新の CT 装置を使用し、肺がんの早期発見を目的とした低線量 CT 検診を実施いたします。

・「肺がん CT 検診とは」

CT 検査では、肺を輪切りにした断面画像を多数撮影することで、胸部 X 線検査では見つけにくい小さな肺の病変を含め、肺全体を詳しく調べることができます。

肺がんは、早期に発見し、適切な治療につなげることが重要です。肺全体を詳細に観察できる CT 検査は、肺がんの早期発見を目的とした検診に適した検査です。

・「低線量 CT を実現しています」

CT 検査は X 線を使用するため、胸部 X 線検査と比較すると放射線被ばくがあります。そのため、肺がん CT 検診では、肺の病変を確認するために必要な画質を確保しながら、できるだけ被ばくを少なく撮影することが重要です。当院では、「低線量 CT」として検診に適した撮影条件を設定し、線量管理を行うことで、**画質と被ばくのバランスを考慮した検査**を実施しております。

・「当院の胸部 CT 検診における平均的な被ばく線量」

2025 年 7 月～2026 年 8 月に当院の人間ドックで実施した検診用胸部 CT では、**実効線量は約 1.0～1.5mSv**でした。通常の平均実効線量胸部 CT は 5mSv。

なお、私たちは日常生活の中でも、宇宙や大地、食品などから自然放射線を受けています。日本では、自然放射線による被ばくは年間約 2.1 mSv とされています。

・最新 CT 装置による肺がん CT 検診

最新 CT 装置「Revolution Apex PowerCore」を使用



当院では、2025 年度に導入した最新装置 GE ヘルスケア・ジャパン「Revolution Apex PowerCore」を使用して検診を実施。「必要な画質を確保しながら、できるだけ少ない X 線量で撮影する」という概念を実現しています。

【検査を受ける際の注意事項】

食事・飲水に関する制限はありません。

服装は胸部に金属がなければ、着替えずに検査できます。

以下に該当する方は、検査を受けることができません。

- 本検診に関するインフォームド・コンセントが得られない方
- 重篤な合併疾患（重度心不全、腎不全、進行した他のがんなど）を有する方
- 現在、活動性の肺疾患の治療中である方、もしくは既に肺がんの既往があり、経過観察・治療中である方
- 短期間内（1年以内）に胸部 CT 検査を受けた方
- 診査票内の記載欄に記入・チェック漏れのある方
- 疾患の種類に関わらず入院中の方
- 妊娠中、または妊娠の可能性がある方
- 体内に心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器（ICD,CRTD）がある方
- 精密検査・治療の受診が困難な方

・地域の皆さまの健康を守るために

肺がんは、早期に発見し、早期に治療につなげることが重要です。

呉共済病院では、最新の CT 装置と専門的な知識・技術を活用し、地域の皆さまに安心して検診を受けていただけるよう、検査の品質管理と放射線被ばくの適正化に努めてまいります。